

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム らいく穂波店		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		~ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		~ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の特性や得意・不得意、身体機能等の情報を参考に、本人に適した個別の課題を設定して支援する事ができる	・各専門職(PT、OT、保育士)の専門性を活かし、お子様1人1人に合わせたプログラムの立案、提供を行っている	・専門職同士での情報交換 ・お子様の支援の方針について話し合い、目標をスタッフ間で共通したうえで支援を行う
2	専門職によるアドバイスや自宅で取り組めるメニューの提供	・学習時の姿勢の崩れや運動時の不器用さの原因を身体機能面や感覚統合の観点から分析し、専門的な視点で保護者様に説明を行っている	・内部、外部研修に参加し、専門的な知識・技術の向上、習得を行い、サービスの質の向上を目指す
3	プレイルームが広く、運動療育でのアプローチが十分に行える	・学校の体育で行われる跳び箱、縄跳び、鉄棒などの用具を揃え、お子様に合った環境の調節や動作練習に取り組んでいる	・お子様の苦手な運動を専門職が分析し、必要な動作訓練や身体機能向上に向けた訓練をスタッフ間で共有し、支援に取り組む

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置上は人手が足りているが、出勤予定だったスタッフが急な休み(病欠、私用等)になった時に、出勤するスタッフの負担が大きくなってしまふ	・スタッフの欠席が出てしまうと、平日の午後、土曜、祝日の利用者が集中しやすい時間帯の人手が不足してしまい、スタッフ1人1人の負担が大きい	・人員確保(正社員だけでなくアルバイトやパートの募集)を行う
2	安全に子供たちが運動に参加できる環境整備が不足している	・運動の部屋内にある鉄柱が剥き出しになっており、活動中にお子様がぶつかって怪我をする可能性がある	・鉄柱を保護する緩衝材の購入、設置

3	個別療育のみのため、利用者様(保護者様)同士の交流、情報交換の場がない	・個別療育である以上、利用者(保護者)同士で交流する場面や機会がない ・利用者様同士の相性やニーズ、ご利用できる時間帯を一致させることが困難	・複数人参加できるイベントを実施し、年齢ごとに時間帯を分けて行うことで、同年代の利用者様同士の関りがもてるよう検討していく
---	-------------------------------------	---	---

公表 利用者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム らいく穂波店

公表日 2026年4月27日

利用児童数 53

回収数 52

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	52	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	42	3	0	7		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思	47	0	0	5		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか	52	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支	50	0	0	2	得意不得意をよく見ていただいており、苦手なところを褒めながらできるように工夫していただけて楽しく取り組んでいるように思います	理学療法士、作業療法士、保育士など各専門職の専門性を基に計画書、プログラムの立案を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	47	0	0	5		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に	52	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの	48	1	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか	50	0	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	49	1	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する	7	10	21	14	個別支援に特化しているので、しようがないと思う	現在、父母の会や兄弟同士の関わる場は設けておりません。今後、必要であれば検討していきます。
その他	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	50	1	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ	51	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング	21	7	5	19		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況	49	1	0	2	とてもよく説明して頂いているので、嬉しく思います	フィードバックや半年に1度のモニタリングを通して、自宅や学校での様子を共有し、その都度必要な支援や課題について保護者様に確認を行っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	44	3	1	4	困っていることを質問するの的確にお答えいただいていると思う	らくいでは活動終了後にフィードバックや相談の時間を設けさせていただいています。必要に応じて、個別の面談や電話での相談等も行っていきますので、お気軽に管理者までお問い合わせください

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	52	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	10	9	9	24	・毎年、兄弟で参加させていただいている夏祭りなど、子供達も大変喜んでいて、毎年楽しみにしています。	ありがとうございます 今後も引き続き、ご家族で楽しんでいただけるイベントを開催できるように努めてまいります
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	43	2	0	7		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	51	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	20	5	3	24	・確認したことがなかった	Instagram(raikuhonami)では毎月のカレンダー掲載やイベントの開催予告等を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	51	0	0	1		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ	22	5	1	24		
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	14	5	2	31		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等	46	3	0	3		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や	40	4	0	8	・今まで事故等もありませんでした	お子様が安心して運動できる環境作りに努めてまいります
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	52	0	0	0	・安心して通所させていただいています	集団生活ではなかなか時間が取れない個別での運動指導を行い、お子様の能力に合った課題から取り組めるようにアプローチを行っています
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	51	1	0	0	・いつも活動する事をとっても楽しみにしています ・些細な事でも褒めてくれ、自信に繋がっている ・通所が楽しみになっています	今後も楽しく通所いただけるようなプログラムの立案やお子様、保護者様との良好な関係性の構築に努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	52	0	0	0	・みなさんに良くしていただき感謝しております ・学校での行事前などストレス発散を目的としてご対応いただくこともある	今後も感覚統合やSST等、スタッフのスキルアップを行い、支援の幅を広げられるように努めてまいります

公表 施設における自己評価結果

事業所名		発達支援ルーム らいく穂波店				公表日	2026.4.27
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3		スタッフの休み(急な)にて、配置人数がギリギリになり、慌ただしくなる場合がある		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	4	1		プレイルーム内の鉄柱は保護材での補修が必要		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また	4	1				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	5	1				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に取り組んでいるか。	3	2	本部との会議内容を全スタッフと共有し、目標や達成に必要な業務改善内容を検討している			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	5	0				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等での研修を行っているか。	5	0				
その他	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を構築しているか。	5	0				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理指針に基づき作成しているか。	5	0				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマットで記録しているか。	4	1				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン	5	0	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	(各専門職より)専門的なアドバイスを受けながら立案を行う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ	5	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支	4	1	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支	3	2	当日もしくは翌日にて行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に	5	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し	5	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み	5	0	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決	5	0	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会	5	0	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、	3	2	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時	2	3	個別療育で保護者送迎のため、保護者からの要望があれば情報共有会議を実施している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達	4	1	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等による	0	5		個別対応のため、保護者同士の交流機会がない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによる	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	5	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応	3	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な	5	0		

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	4	1		